北海道医師会館９階理事会室

第11回常任理事会

日　時　平成30年８月７日（火）18：00～19：16
場　所　北海道医師会館９階・理事会室
出席者　長瀬会長、深澤・藤原・小熊各副会長、北野・三戸・目黒・藤井・橋本・水谷・山科・岡部・伊藤・生駒・後藤・笹本・櫻井・青木各常任理事、藤瀬・篠島両監事
（事務局：安達局長ほか12名）

協議事項

第１号　平成30年度会費減免に関する件
（三戸常任理事）

道医会費の減免申請者は、高齢免除963名、一般減免９名、研修医減免149名、出産育児減免３名の合計1,124名で免除額27,996,000円、日医会費の減免申請者は、高齢減免414名、一般減免７名、研修医減免148名、出産育児減免３名の合計572名で免除額12,549,000円となる。以上の減免を承認決定。

第２号　日本医師会会内委員会委員の推薦に関する件（三戸常任理事）

医師会将来ビジョン委員会については、札幌市医師会から推薦のあった、上埜・中川両会員を、外国人医療対策委員会には、伊藤常任理事を推薦することと決定。

第３号　札幌医科大学医学部ステークホルダー懇談会委員の推薦に関する件（三戸常任理事）

後藤常任理事を推薦することと決定。

第４号　第２回郡市医師会長協議会［11月11日(日)］の開催に関する件（三戸常任理事）

11月11日(日)午前10時から当会館において標記会議を開催することと決定。

第５号　北海道医師会創立71周年記念行事［11月11日(日)］の開催に関する件（三戸常任理事）

11月11日(日)午後１時30分から札幌グランドホテルで開催する記念講演、記念式典、記念祝賀会の日程と次第を決定。

第６号　日本医師会生涯教育講座等の認定に関する件（櫻井常任理事）

申請のあった日医生涯教育講座21件を承認することと決定。

第７号　第３回理事会［８月18日(土)］の議案に関する件（三戸常任理事）

８月18日(土)午後４時から当会館で開催する第３回理事会の提出議題を決定。

第８号　その他

⑴　第４回理事会(移動)［10月６日(土)・旭川市］の開催スケジュールに関する件（三戸常任理事）

第４回理事会の開催日程について承認決定。

報告事項

１．第31回全国有床診療所連絡協議会総会［７月28日(土)～29日(日)・山口市］について
（伊藤常任理事）

山口県医師会・河村会長が総会会長となり「有床診療所に明るい未来を！～国策に呼応する有床診療所の必要性～」をメインテーマに開催された。１日目は、厚労省保険局医療課・迫井課長から「平成30年度診療報酬改定と有床診療所」、株式会社M&Cパートナーコンサルティング・酒井取締役から「2018年度診療報酬・介護報酬改定の解説・対応」、日医・今村副会長から「平成29年度税制改正：認定医療法人制度」をテーマに講演が行われた。また、日医・横倉会長に対し、①有床診療所の機能強化のための診療報酬引き上げ、②施設継承時の相続問題の解消、③看護職員を安定して確保できる仕組み、以上３点が要望された。２日目は、日医・横倉会長から「日本医師会が進めるべき医療政策」と題した講演が行われた後、シンポジウムが行われた。参加者は241名であった。次回は、来年７月27日～28日、群馬県高崎市において「個性あふれる有床診～今こそ、“かかりつけ医”の活躍を！～」をメインテーマに開催予定。

２．平成30年度北海道医師会賞受賞者選定委員会［７月31日(火)］について（生駒常任理事）

札幌市医師会、北海道大学医師会、札幌医科大学医師会、旭川医科大学医師会より推薦のあった今年度の北海道医師会賞受賞候補者７名について審査を行った(選定委員長：北海道大学大学院医学研究院・吉岡医学研究院長)。慎重審議の結果、７名全員を受賞者に決定した。

３．医育ブロック会議［７月31日(火)］について
（三戸常任理事）

三医育機関学長・病院長等の出席のもと「医師会の組織強化について」をテーマに小職から話題提供の後、意見交換を行った。

４．北海道医療・福祉関係職能団体等意見交換会［８月３日(金)］について（藤井常任理事）

医療ならびに福祉関係に関わる職能団体の方々に、それぞれの立場から発言いただき意見交換をすることを目的に年２回開催している。今回は、33団体65名が参集し、北海道歯科技工士会から「歯科技工士をとりまく現状等について」をテーマに話題提

供の後、意見交換を行った。次回は、日本医師事務作業補助研究会北海道支部の話題提供担当により開催予定。

5．日医理事会報告（長瀬会長）

平成30年医師会立助産師・看護師・准看護師学校養成所調査結果、中医協等の報告を受けた後、平成30年度第１回都道府県医師会長協議会開催の件等を協議した。理事会の詳細については日医ニュース等を参照されたい。なお、事前の理事打合会において、日本医師会理事会ペーパーレス化について、第７回「日本医師会赤ひげ大賞」候補者推薦依頼について等の意見交換を行った。

6．外部各委員会報告

⑴ （第１回）外国人への医療提供に関する全道意見交換会［７月25日（水）］について（伊藤常任理事）

国の「地域における外国人患者受入体制のモデル構築事業」の一環として、事業受託者の北海道主催で23の関係機関・団体の参集のもと、第１回目の意見交換会が開催された。13機関（団体）より現在の取り組み状況について報告があり、情報共有した。今後、外国人受入実態調査、先進医療機関個別ヒアリング、倶知安・ニセコ地域在留外国人意識調査を実施するとともに、倶知安・ニセコ地域協議会を開催しながら、意見交換会をあと２回開催し、外国人への医療提供体制整備の促進を図ることとなった。

⑵ 北海道医療対策協議会第３回地域枠医師キャリア形成支援検討委員会［７月30日（月）］について（小熊副会長）

地域医療への貢献とキャリア形成の両立について、医師配置対象となる指定公的医療機関等の範囲について、200床未満の医療機関への円滑な配置方法について、医師不足が顕著な地域への対応について協議を行い、概ね了承された。

⑶ 離職看護職員相談事業協議会［８月２日（木）］について（深澤副会長）

前年度事業報告と、今年度の事業実施状況について報告があった。道内の登録者は5,588人、再就業は1,079人となり、復職支援として実施を開始したｅラーニングによる講習会には多数の受講者があり就業につながっている。今後も広報媒体による周知を行い、登録者を数を増やしていくこととなった。

7．外部報告

⑴ 政経問題懇話会［８月18日（土）］について（笹本常任理事）

小職より、講師（北海道旅客鉄道株式会社・島田代表取締役社長）、テーマ（JR北海道の経営の現状）についてアナウンスし出席依頼した。

8．その他

⑴ 都道府県医師会長協議会［９月18日（火）］の提出議題について（三戸常任理事）

都道府県医師会長協議会への議題提出および期限について確認した。

⑵ 世界医師会（WMA）レイキャビク総会［10月３日（水）～６日（土）・アイスランド］について（三戸常任理事）

レイキャビクで開催される今年度の世界医師会総会につき説明し、参加を募った。

道総医協関連事項（深澤副会長）

1．第２回地域保健専門委員会［７月27日（金）］について（藤原副会長）

昨年度第５回本委員会ですでに了承されている本道のがん診療連携拠点病院等の推薦要領（案）、審査基準（案）等について、国からの新たな指定要件に基づき協議する予定であったが、当日までに内容が示されなかったため、再度、委員会を開催し検討することとなった。その後、各都道府県に１～２ヵ所選定することが求められている都道府県アレルギー疾患医療拠点病院の指定と都道府県アレルギー疾患医療連絡協議会の設置について、アレルギー疾患の医療提供体制の道内の現状と今後の進め方に関する説明があり、意見交換を行った。

2．第１回地域保健専門委員会循環器疾患対策小委員会［８月２日（木）］について（水谷常任理事）

北海道医療計画の脳卒中ならびに心筋梗塞等の心血管疾患の医療連携体制と公表医療機関の状況について報告があった後、毎年行っている公表医療機関調査の調査票の見直しについて協議した。

第３回理事会

日　時　平成30年８月18日（土）16：00～16：52

場　所　９階理事会室

出席者　長瀬会長、深澤・藤原・小熊各副会長、北野・橋本・水谷・伊藤・生駒・笹本・青木各常任理事、松家・野呂・恩村・阿久津・文屋・山下・今野・稲葉・久島・千葉各理事、藤瀬・篠島両監事、本間議長、稲川副議長、城裁定委員
（事務局：安達事務局長ほか15名）

1．開　　会

2．会長挨拶

3．報告事項

⑴ 日医理事会報告（長瀬会長）

平成30年医師会立助産師・看護師・准看護師学校養成所調査結果等の報告の後、平成30年度第１回都道府県医師会長協議会開催の件等を協議した。理事会の詳細については日医ニュース等を参照されたい。なお、事前の理事打合会において、日本医師会理事会ペーパーレス化について、第７回「日本医師会赤ひげ大賞」候補者

推薦依頼について、日本医師会設立71周年記念式典並びに医学大会の次第案、アメリカ医師会・日本医師会共同シンポジウム案について等の意見交換を行った。

⑵　日医裁定委員会報告（城裁定委員）

今年度に入ってから日医裁定委員会が２回開催された。個別の案件についての報告は差し控えるが、事例として郡市医師会・都道府県医師会・日本医師会の各裁定委員会の仕組みにも関係する案件であったため、今後、検討する必要があることを報告した。

４．承認事項

⑴　社会保険診療報酬支払基金北海道支部審査委員会委員の推薦について（橋本常任理事）

欠員となっていた診療担当者代表委員１名について、北海道眼科医会より推薦のあった１名を承認決定。

⑵　日本医師会会内委員会委員の推薦について（笹本常任理事）

日医より北海道ブロックに対し20の委員会委員の推薦依頼があり、当会副会長、常任理事のほか、当会会員の中から４名の併せて計20名の推薦と、日医より指名された委員会委員３名の推薦を承認決定。

⑶　外部各委員会等委員の推薦について（笹本常任理事）

今年度において各種委員の推薦依頼のあった、北海道保健福祉部所管の総医協地域医療専門委員会在宅医療小委員会委員に伊藤常任理事、北海道看護協会所管の訪問看護ステーション出向支援検討会議委員に藤原副会長、北海道水産林務部所管の第44回全国育樹祭北海道実行委員会委員に長瀬会長、厚生労働省所管の北海道地方社会保険医療協議会委員に藤原・小熊副会長と三戸常任理事、札幌医科大学所管の札幌医科大学医学部ステークホルダー懇談会委員に後藤常任理事を推薦することを承認決定。

５．協議事項

第１号　平成30年度会費減免に関する件（笹本常任理事）

道医会費の減免申請者は、高齢免除963名、一般減免９名、研修医減免149名、出産育児減免３名の合計1,124名で免除額27,996,000円、日医会費の減免申請者は、高齢減免414名、一般減免７名、研修医減免148名、出産育児減免３名の合計572名で免除額12,549,000円となる。以上の減免を承認決定。

第２号　平成30年度北海道医師会賞受賞者に関する件（生駒常任理事）

北海道医師会賞受賞候補者７名を受賞者とすることと決定。

第３号　第２回郡市医師会長協議会［11月11日(日)］の開催に関する件（笹本常任理事）

11月11日(日)午前10時から当会館において標記会議を開催することと決定。

第４号　北海道医師会創立71周年記念行事［11月11日(日)］の開催に関する件（笹本常任理事）

11月11日(日)午後１時30分から札幌グランドホテルで開催する記念講演、記念式典、記念祝賀会の日程と次第を決定。

第５号　理事提案事項

特になし。

第６号　その他

⑴　第４回理事会(移動)［10月６日(土)・旭川市］の開催スケジュールに関する件(笹本常任理事)

開催スケジュールを承認。

６．道総医協関連事項（深澤副会長）

平成30年度第２回理事会(５／19)報告以降に開催された会議について報告した。

７．閉　　会

第12回常任理事会

日　時　平成30年８月28日（火）18：00～19：41

場　所　北海道医師会館９階・理事会室

出席者　長瀬会長、深澤・藤原両副会長、北野・三戸・目黒・藤井・橋本・水谷・山科・岡部・伊藤・生駒・笹本・櫻井各常任理事、藤瀬・篠島両監事

（事務局：安達局長ほか11名）

協議事項

第１号　北海道国民健康保険診療報酬審査委員会委員の推薦に関する件（橋本常任理事）

保険医代表委員１名の辞任に伴い、推薦母体である札幌市医師会に対し後任委員の推薦依頼を行うこと、また、北海道国民健康保険診療報酬審査委員会委員の現任期が本年12月末日で満了となることから、保険医代表40名の推薦依頼があり、内科、外科は関係郡市医師会に、その他の専門科は各専門医会にそれぞれ推薦依頼をすることと決定。

第２号　日本医師会認定産業医の認定申請に関する件（生駒常任理事）

認定要件を満たした新規申請者17名、更新申請者22名を承認し、日医へ申請することと決定。

第３号　日本医師会認定健康スポーツ医の認定申請に関する件（北野常任理事）

認定要件を満たした更新申請者１名を承認し、日医へ申請することと決定。

第４号　日本医師会生涯教育講座等の認定に関する件（櫻井常任理事）

申請のあった日医生涯教育講座16件を承認することと決定。

第５号　その他

⑴　９月行事予定に関する件（事務局）

報告事項

１．地域医療に関わる地域別意見交換会［８月10日（金）・網走市］について（伊藤常任理事）

地域医療の確保に苦慮している各地の状況を把握するため、長瀬会長他７名の当会役員と網走医師会の役員ならびに会員と、喫緊の課題を含め地域の様々な問題について意見交換を行った。出席者は34名であり、北海道関係者も傍聴した。

２．政経問題懇話会［８月18日（土）］について（笹本常任理事）

北海道旅客鉄道株式会社・島田代表取締役社長を招聘し「JR北海道の経営の現状」というテーマで、広大な北海道の鉄道網を支える上での課題などについて講演した。

３．日医生涯教育協力講座セミナー「これからの高尿酸血症･痛風の治療戦略」［８月25日（土）］について（櫻井常任理事）

当会・日医・帝人ファーマ㈱の共催で開催した。東北大学医学系研究科腎･高血圧･内分泌学・伊藤教授を特別講演講師に招聘し「高尿酸血症・痛風」をテーマに基調講演、パネルディスカッションなどフロアとの活発な意見交換が行われた。参加者は186名であった。

４．平成30年度地域包括診療加算・地域包括診療料にかかわるかかりつけ医研修会［８月26日（日）］について（水谷常任理事）

日医会館で開催され、当会館にテレビ会議中継会場を設置した。全国で7,600名を超える事前の受講登録があり、当会館では169名が受講した。なお、全講義受講者には､日医より修了証書が交付される。

５．日医理事会報告（長瀬会長）

平成31年度医療に関する税制要望の件、准看護師試験事務の外部委託の件、第７回社会保障審議会統計分科会疾病、傷害及び死因分類部会の件、第23回厚生科学審議会予防接種・ワクチン分科会予防接種基本方針部会の件、第１回民間保険会社が医療機関に求める診断書等の簡素化等に関する研究会の件、医学研究等に係る倫理指針の見直しに関する合同会議の件等の報告と、日本医師会設立71周年記念式典並びに医学大会被表彰者選考の件、全国医師会・医師連盟医療政策研究大会開催の件等を協議した。理事会の詳細については日医ニュース等を参照されたい。なお、事前の理事打合会において、医師国保組合の問題について、医療セプターの活動について、ストレスチェックについて等の意見交換を行った。

６．外部各委員会報告

⑴　第１回学校保健総合支援事業連絡協議会［８月８日（水）］について（三戸常任理事）

今年度の学校保健総合支援事業の説明のほか、北海道内の子どもたちの肥満、生活習慣、視力、むし歯、アレルギー、心の問題などのデータをもとに､健康課題に対する体制づくりや、教職員の実践的な指導力の向上について意見交換を行った。

⑵　第１回公益信託北海道・ロシア極東医療交流基金運営委員会［８月17日（金）］について（深澤副会長）

当基金は、平成２年にロシアのコンスタンチン君（当時３歳）が札幌医大に搬送され火傷治療をした際に、全国から寄せられた義援金をもとに平成４年に設立され、北海道とロシア極東地域との医師の派遣および医療関係者によるシンポジウム等の医療交流活動に対する助成を行い、両地域の医療の向上と友好親善を目的としている。当日は、昨年度の事業報告の後、今年度の事業について協議した。過去の医師招聘の参加者やサハリン州保健省、サハリン州内の医療機関に対し、本基金へのニーズをアンケート調査した後、来年度以降の本基金の事業実施方針について検討することとなった。

⑶　北海道医療審議会　第１回医療法人部会［８月21日（火）］について（深澤副会長）

社会医療法人の認定２件、医科診療所の設立17件、医療法人の解散13件、医療法人の合併４件が上程され、すべて承認した。

⑷　北海道医療審議会　第１回地域医療部会［８月21日（火）］について（藤原副会長）

診療所における病床設置の届出について３件を審議し、１件を承認、２件を継続審議とした。また救急医療に関わる実績が不足している地域医療支援病院１件については、今年度内に要件を満たす可能性が高いことから１年間の実績を見た上で判断することとした。さらに、診療所における病床設置の届出に係る取扱いについては、国の通知にもとづいて、保健所長・医師会長の意見の代わりに地域医療構想調整会議での意見を道へ提出することとなった。他に、過剰な病床機能へ転換しようとする場合、全病床が全て稼動していない病棟等への対応について協議した。

⑸　第１回北海道助産師出向支援事業協議会［８月27日（月）］について（藤井常任理事）

正常分娩の介助経験を積み重ねることが困難な医療機関に就業している助産師を、分娩件数が多いにも関わらず十分な助産師を確保できていない医療施設に出向させることを目的とする事業である。昨年度の出向実績は５例、今年度事業実施状況では、予定を含む３件のマッチングが成立し、そのうち１件は移籍型出向をしており、期間を延長する予定であるとの報告があった。

７．中央情勢報告（笹本常任理事）

「厚生労働省の人事等について」

８月１日付けで発令された厚生労働省の幹部人事

について、小職より情報提供した。

８．その他

⑴　会員数について（三戸常任理事）

平成30年７月31日現在の当会会員数は8,337名で、内訳はA会員2,447名、Ｂ１会員618名、Ｂ２会員4,647名、Ｃ１会員100名、Ｃ２会員128名、Ｃ３会員397名となった。なお、日医会員数は5,836名となっている。

道総医協関連事項（深澤副会長）

１．地域保健専門委員会難病対策小委員会（北海道難病対策協議会）第２回ワーキング［８月８日（水）］について（三戸常任理事）

北海道における新たな難病医療提供体制の構築に向けて、医療機関の情報等を整理し、難病診療連携拠点病院等の選定方法、移行期医療支援体制の方向性を検討していくこととなった。

２．第１回慢性腎臓病対策連絡会議および第１回地域保健専門委員会糖尿病対策小委員会［８月22日（水）］について（藤原副会長）

慢性腎臓病対策連絡会議では、北海道における透析患者の状況について、導入患者数は一時減少したものの、平成28年には増加に転じ、平均年齢は上昇していると報告があった。また、糖尿病重症化予防（慢性腎臓病）対策の実施状況等について各団体より説明があった。その後、今年度の世界腎臓デー啓発パネル展について協議した。地域保健専門委員会糖尿病対策小委員会では、北海道医療計画における数値目標達成に必要な施策等について報告したほか、糖尿病連携手帳を窓口で提示するよう促す媒体の作成・配布、糖尿病の医療機能を担う医療機関の公表基準にある“合併症”についての記載について、今後協議していくことを確認した。

３．第３回地域保健専門委員会［８月24日（金）］について（藤原副会長）

北海道におけるがん診療連携拠点病院については、国の通知にもとづきより厳しい要件で新たな審査基準を設けることとした。また、北海道がん診連携指定病院整備要綱について一部文言を整理した。

道医の動き

８月18日　第３回理事会、政経問題懇話会
８月19日　産業医学実践研修会
８月21日　日医理事会（長瀬会長）
８月22日　介護保険制度・障害者総合支援法にかかわる主治医研修会（美幌町、伊藤常任理事）
８月24日　医療事故防止研修会（函館市、後藤・橋本両常任理事）
８月25日　健保請求事務講座、日医生涯教育協力講座セミナー
８月27日　三役会
８月28日　第12回常任理事会
８月29日　医事紛争処理委員会、介護保険制度・障害者総合支援法にかかわる主治医研修会（厚岸町、水谷常任理事）
８月30日　日医医療情報システム協議会運営委員会（藤原副会長）、医業経営講習会（中標津町、岡部常任理事）
９月１日　医師事務作業補助者スキルアップ講座
９月４日　臨床研修医との懇談会（函館市、長瀬会長、小熊副会長、櫻井・青木両常任理事）
９月５日　北海道厚生局との打合せ
９月６日　健保請求事務研修会（帯広市）
９月７日　産業保健研修会（室蘭市、生駒常任理事）、地域医療に関わる地域別意見交換会（根室市、長瀬会長、藤原副会長、伊藤・目黒・岡部・笹本各常任理事）
９月10日　三役会、表彰選考委員会